

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-34)、  
廃棄物管理施設(10)、MOX燃料加工施設(2-5))」
2. 日時：令和5年3月7日(火) 10時00分～10時40分  
14時30分～15時40分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
核燃料施設審査部門  
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)  
古作企画調査官、大橋上席安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主  
任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬  
戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員  
日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他12名  
東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループマネージャー  
北海道電力株式会社 原子燃料サイクルグループ 担当
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
6. その他  
提出資料  
「共通12の整理方針」  
「至近の対応スケジュール」

#### 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年  
12月26日)  
「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可  
申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始します。
0:00:06	本日のヒアリングは、令和
0:00:08	4年12月26日に申請のあった、
0:00:12	ものと、令和4年或いは5年、2月28日に申請があった、設計及び工事の計画の申請についてヒアリングを行うものになります。
0:00:21	まず規制庁側の出席者は本庁からハバサキセトガワ。
0:00:26	ウェブリミックスで、コサク。
0:00:28	シミズカミデオオカオオハシタジリタカナシになります。
0:00:35	それでは日本原燃から出席者の紹介と議題の構成の確認、説明範囲達成目標を説明してください。それではよろしくお願いします。
0:00:44	はい、日本原燃事務局中浜です。
0:00:47	日本原燃が出席者紹介いたします。
0:00:51	まず事務局より、サトウタカハシセガワ。
0:00:56	藤野。
0:00:57	中浜。
0:00:58	イシハラ。
0:01:00	本日御ご確認いただきますスケジュール関係で、共通12関係でシミズ、
0:01:08	一斉役員関係で、シノザキ、
0:01:11	重大事故関係で、ホリグチ以上となります。
0:01:16	ご確認いただきます資料でございますけど、スケジュールの方、ご提示させていただきましたので、そちらの方から、
0:01:24	説明を開始させていただきます。
0:01:28	はい日本原燃の藤田です。
0:01:30	委員の対応スケジュールなんですけど、ちょっとぎりぎりになってしまったんですが先ほど提示させていただいております。
0:01:37	こちらはですね昨日、ヒアリング実施してまして、その状況を反映したのものになってございます。
0:01:43	主にですね
0:01:45	設備構造の共通12、それから溢水薬品こちらはスケジュールちょっと知ってるんですが、口頭で、どういうことを考えているのかというところをまず整理させて認識合わせさせていただき、

0:01:58	それから重大事故関係ですね、こちら昨日の状況なんかを踏まえて予定しておりますので、梅津参加してホリグチの方からこれ説明してもらうことを考えております。
0:02:08	よろしければ共通 12 の方から順番に説明していきたいと思います。
0:02:15	すいません、規制庁化技術機能、耐震の話で何か火曜日に、今日出せるかどうか、まだ決まってないっていう話でしたけどその話はどうなったんですか。
0:02:29	日本原燃の宮野です。昨日ちょっとイシハラとも話しさしてもらいまして、今日耐震化というものの 01 と 31 ということで、人、杭、すいません。
0:02:42	網羅性、あと金融機関の変更点の話は、今日夕方資料提出させていただきます。
0:02:50	はい。規制庁亀井です。わかりました。予定通り出せますっていうことですね。はい。
0:03:00	じゃあ共通 12 の方をお願いします。
0:03:04	はい。日本原燃清水です。
0:03:06	今日功刀理事よりですけども、
0:03:10	昨日のヒアリングでのご指摘も踏まえまして、まず、本日はですね、3日のヒアリングを踏まえた、
0:03:21	全体の修正の方向性をちょっと取りまとめたちょっと資料を今以降用意してまして午前中こちらを紙資料提示させていただきまして、本日の午後、
0:03:32	その更新の方についてご説明させていただきたいと思います。
0:03:37	二本木の藤尾です。
0:03:40	日本原燃藤尾です。画面共有用のパソコンからちょっと資料今供給できなくて、申し訳ないんですが、口頭での説明を今させてもらってます。
0:03:50	共有できるようになったら画面共有させていただきますのでよろしくお願いたします。
0:03:57	はい。日本原燃志水です。はい。説明の方、続けさせていただきます。
0:04:02	本日ご説明した修正方針、ご指摘等も踏まえまして、全体の見直し、見直し方針と、今、代表でご説明させていただいている飛来物防護版の内容を取り込んだ、

0:04:15	共通 12 の資料、こちらの方をですね、9 日木曜日ちょっと今日の結果にもよりますけども、資料の方、ご提示させていただいて、
0:04:24	翌日、すみません期間がなくて申し訳ありませんけども、内容、資料の方の内容の方をご説明させていただきたいと思っております。
0:04:33	その内容を踏まえまして、14 日以降ですね、
0:04:38	共通 12 の直し版プラス、月末の会合の
0:04:46	方針みたいなものも合わせてですね、14 日以降資料の提出と説明の方を何度かご説明させて、繰り返させていただきたいというふうに思っているのと、
0:04:57	代表の飛来物防護板以外の設備についてもですね、14 日以降、
0:05:03	その内容を反映したものを順次ちょっと出していきたいというふうに考えている状況です。ただ、今の会合に向けたこのヒアリングの日程を踏まえると、
0:05:16	なかなかちょっと具体の設備のところですね、比嘉飛来物防護板もちょっと何回かしっかりちょっとヒアリングに行っておけないというと、他の設備については、
0:05:26	入れられてもヒアリング 1 回ぐらいかなというちょっと今のスケジュールの見込みでして、
0:05:32	もともと考えておりました 3 月の会合の方で、外部衝撃の、2-1 のご説明をするというものが、
0:05:41	うまくいっても、飛来物防護板ぐらいになってしまうのかなというのが今現状の認識でございます。
0:05:48	はい、伊勢ヒアリングスケジュールの説明以上でございます。
0:05:53	それではヒアリングスケジュールについて説明がある方、よろしく願いいたします。
0:06:00	規制庁のタジリなんですけど、とりあえず共通 12 っていつ出てくんでしたっけ。
0:06:05	日本原燃清水です。本日お出しするものは、今ちょっと中のコメントを反映したものを用意してまして、早ければ 11 時ぐらいを目標にちょっと提出できるように対応させていただきたいと思っております。
0:06:20	午前中いっぱいかかりそうな雰囲気っていうことですね言っても早くはならないような気がするんで状況は理解しつつなんですけど、先ほどの

	説明後なんですけど、会合でやるのは結局本動いたり絞ってっちゅう話をされたでしたっけ。
0:06:36	はい。日本原電シミズですはいまくいってか、動いただと思っってます。
0:06:43	規制庁田井です。その時防護板については、2-1として、こういうふう に整理しましたっちゅう話なんか中身の議論までできるように進めてい こうとしてるかという、どっちですかね。
0:06:58	はい、日本円でシミズです。目標としては中身の方も盛り込みたい、い ければというふうには考えておりますけども、ちょっと本日のヒアリン グだったり、
0:07:09	の状況を踏まえてちょっと見直しを、変わる可能性があります。
0:07:16	規制庁館です。本日出てくる資料が何まで書いてあるかがわからないの で、ちょっと先行きが見通しづらいところなんですけど、とりあえず 今日午前中出てきて午後のヒアリング次第後スケジュールとりあえず組 んではみたけれどこれが、
0:07:30	どこまで中身まで踏み込めるかが今後決まっていくっちゅうことですか ね。とりあえず状況だけはわかりました。
0:07:42	あと姑息なんですけど、
0:07:44	開口で、
0:07:47	一部だけって、どういう説明の仕方になるんですか。
0:07:59	はい日本原燃の瀬川です。
0:08:02	やはりガイド衝撃として全部意識、耳をそろえて終わらせるのが一番い いんですけれども、進捗率 20%とか 30%みたいなですね、
0:08:13	対象として説明しなきゃいけない全体母数がこれだけあって、そのうち の、今回、5 番についての説明が完了してますというこの経過報告的な 感じには、
0:08:24	色が出てしまうかなというふうに思うこれ認識はありました。以上で す。
0:08:32	いや、コサクなんですけど、今の説明の仕方も根本的に間違っただけで、報告 的なヒアリングはただで聞いているだけなんで、あります審査会合でや るといふことですから、
0:08:48	審査がまだごく一部のものしかできないという状況にありで、一部をや る意味がどこにあるんだっていう古藤なんですよ。

0:08:58	何レックIIIで位置がどこにあるんだってということなんですよ。やるんだらうっていうところの関係を説明してください。
0:09:10	はい。日本原燃の千葉です。
0:09:14	そそういう意味でちょっと視点がちょっとずれてたかもしれませんがけれども、最後にもしちょっと遅延がちょっと出たのでというかかけるとすれば、
0:09:25	どこまでが実力的に説明できるんだらうというのを、実際に攻めの姿勢でヒアリングに、資料提出を実際に、
0:09:35	製品、やはり不十分になるというのが、よく見えたというのができたいですんで、その中で、防護板だけを説明すると何の意味があるのか。
0:09:47	安保からご説明があるとか、言われればですね、
0:09:52	すいませんあの子、
0:09:55	普通の置き方としては説明できるかとか、説明、回答で説明すると。
0:10:03	そういう中途半端な考えで、医師を置いたものなの。
0:10:07	コンパな。以上です。古作です。ちゅという、
0:10:15	ここ、
0:10:17	トップ列、教えたいという。
0:10:20	だけだと。
0:10:22	大井。
0:10:23	意見交換にも調整にも何もならないのですけど、
0:10:30	先ほど田尻が言った営業なこと。
0:10:34	ていうと、説明の方針をっていうのはもう前回終わっているんで、やる意味がないと思って。
0:10:41	います。
0:10:42	で、何らか説明をし切るつもりできましたと。
0:10:50	いう。
0:10:51	ことでないと、会合での議題になりえないと。
0:10:55	思うんですけど。
0:11:05	その時に、防護盤だけ。
0:11:11	処理し切るっていうのはまずありえなくて、
0:11:15	結局、
0:11:18	少なくとも竜巻であっても竜巻のパーツパーツそれぞれこういうものがありましてそれぞれこういうふうになってますと。

0:11:25	全体として整合がとれてますと言っていたかないと、
0:11:32	クリアしていかないんだと思うんですね。
0:11:35	そうするとあくまで部分でしかなくて改めて次回にそろえて、もう一度やりましょうねしかないと思うんですけど。
0:11:48	数そういう認識でいいですか。
0:11:58	日本原燃の瀬川です。
0:12:02	えっとですねコサクさんがおっしゃられたところの本当に同じことをです、昨日の話を社内ですまして、
0:12:11	方針せ、全体の整理方針といったところろをかけるのが次実力として多分精一杯だろうなという話をしたんですけども、整理方針だけかけたってそれ何の意味も成さないと、やはり具体的な中身の分がないと駄目だろうというのでじゃ何がいえるんだというので苦肉の策で今日、
0:12:29	示したスケジュールになっているのが実態で、外傷としていつ苦勞するんだと言えば4月の会合、もう1回、残り分測り直して、しかも、防護版もフィードバックしてみた時に全体俯瞰してみた時に相互に
0:12:45	不整合ないよねということで繰り返しの説明になっていくだろうといったところは90認識してる中で、何とか、28の階層に、
0:12:56	意味があるものというので載せたのが今日のスケジュールでした。で、実態として、
0:13:03	やはり防護ネットで、前、先日まで議論させていただいた隙間問題ですね、あれに対する議論をじゃあ28までに、
0:13:14	やりつくせるかという、多分やり尽くせないだろう、そう、そうするとですね、やはり外傷全部
0:13:21	報告するってのはそもそも無理なんだなといったところを
0:13:25	改めて認識してたのが昨日までの、
0:13:29	状況でございます。以上です。
0:13:32	規制庁コサクです。今の発言も問題があって、
0:13:37	議論をし尽くすのは会合なのですよ。
0:13:40	なので、
0:13:41	議論尽くしてないから、会合出せませんっていうのはもってのほかです。
0:13:47	なのでいいから出してくれという話にもなりかねないんですけど。



0:13:52	説明し切って議論できるような状態にしますというのが、まだ準備が整わないんですと。
0:14:03	いうことであれば、
0:14:06	そうですかということではない。
0:14:09	ですけど、
0:14:11	またこれも繰り返になりますけど、皆さん申請してるんじゃないかなかったですっけっていう。
0:14:17	ことになるんですけど。
0:14:22	準備が整わないということであれば、そういうふうに言っていただきつつ、少なくとも
0:14:29	累計というカー。
0:14:31	こういう体系で説明していくつもりですということはあわせて行ってもらわないとなというふうに思いますのでよろしくお願いします。
0:14:46	はい。日本原燃の人が承知いたしました。
0:14:53	その他、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:14:59	ないようでしたら原画説明続きお願いいたします。
0:15:07	はい。日本原燃の篠崎でございます。溢水について説明します。昨日の朝ヒアリングで、
0:15:17	合図につきましては4月開を見据えたスケジュールをしっかりとということで、今、すいません作業して参りました、しておりますけども、ちょっとまだ部会スケジュール今日お見せできる状態になって申し訳ございません。
0:15:29	口頭で、どういうスケジュールを引いてるかっていうところを報告差し上げますので、ちょっとそのイメージなんかを確認いただければと思います。
0:15:39	医師につきましては、4月会合、1月審査会合では、1ポツの説明が終わって審査いただく。
0:15:49	2-1につきましては共通事業、
0:15:52	議論がされているといったステータスを
0:15:55	目標にスケジューリングしていきたいと思っております。
0:16:01	1ポツの設計状況及び評価判断基準につきましては、
0:16:05	基本設計方針の説明がありますけれども、溢水につきましては、まだその設計方針についてですね、

0:16:13	あやしいところがあるといったところで、店舗を用いて、一通り溢水防護対策、
0:16:20	防護せ対策として、どのような設計方針かといったところをご確認いただきまして、
0:16:26	方針についてちゃんと、そう確認しなきゃいけないといったポイントを、
0:16:32	挙げて今、コメント対応表として整理している状況だというふうに認識でございます。すなわちまだ1ポツの入口の状態だというふうに今のステータスは認識してございます。
0:16:43	つきましては先日前示を示しましたコメント対応リスト。
0:16:48	或いは、
0:16:53	すいません失礼しましたコメント対応リストを挙げた項目につきまして、リスト或いは
0:16:59	図表がいうものなんかにつきましては、コメントリストの別添みたい形です。スタンスペーパーみたいなものを用いまして、
0:17:06	それぞれの項目について、どういう方針で対応していきますといったのを一つ一つ固めさせていただきまして、
0:17:16	その内容を基本設計方針の方にフィードバックし、それをご説明差し上げていくということになると思っております。
0:17:24	4月、例えば末に、仮に審査会合と、
0:17:29	仮定しますと、
0:17:31	4月中旬ぐらいには審査会合の資料、
0:17:34	もう示していかなきゃいけませんので、初旬から中旬に向けて、もうそのゴールが見えているという状況まで
0:17:42	持っていけるべく、スケジューリングをしているところでございます。
0:17:48	一方コメントのうちでも、共通中に関連するものにつきましては、
0:17:54	スケジュールで一斉は4月の20ぐらいから議論が始まることとしますので、こちらの方は優先的に扱っていくと。
0:18:02	そういったことでそれぞれコメント対応方針につきまして、何を目的にいつ、お示しして、いつヒアリングできるかといったところを今、具体的にスケジュールに落とさせていただいてるところでした。
0:18:15	はい。説明簡単ですが以上です。

0:18:21	或いは、規制庁側から質問ある方いらっしゃいましたらお願いいたします。
0:18:28	規制庁志水です。どうも一種役員については昨日のヒアリングは行ってスケジュールを検討してるところっていう説明を理解しまして、
0:18:38	ちょっと確認なんですけど、けど結局コメントリストの方針っていうのは10日までかかるっていうことでよろしいでしょうか。今お話あったように、
0:18:52	特に溢水はその許可ともともと違うことを示してたり、あと、
0:18:57	先行炉と違うことやったりとかそういうところは早めにどういうことをしようとしてるのかっていうところをまず確認したいと思っててその実際資料で
0:19:07	示していただくのは確認できればと思うんですけども、まず、原燃としてどういうことをしようとしてるかとかっていうそういう、
0:19:16	方向性とかが決まればそういうのも早めに口頭とかでも説明は聞けるかなとか思ってるんですけども一応ですから一旦10日までのコメントリストの更新持ってから話を聞く。
0:19:29	ていう方がよろしいでしょうか。
0:19:32	はい。日本原燃篠崎でございます。まず第1弾として、10日金曜日に、コメントリストと、或いはちょっと個別、資料を用いて、
0:19:43	方針をご説明させてあげていただきたいところからスタートしたいと思ってます。金曜日開始にやらさせていただきたいと思ってました。
0:19:56	やはり、わかりました。それではすでに1週間とか置かずにすぐに次の週の早いうちに、
0:20:04	確認をしたいと思ってるのでよろしくお願いします。
0:20:09	浅香です。念のためですけど、
0:20:14	金曜日に出てくる。
0:20:15	来るという資料の中では、先ほど口頭で言われてたようなところをさらに具体化してどれをいつまでに何していくかと。
0:20:25	いうことは分かる資料になってくるっていうことでいいんですかね。
0:20:32	日本原燃篠崎でございます。すいませんスケジュー
0:20:38	失礼しましたコメント対応方針ってはい。

0:20:42	スケジュールとともに、リストの方にも、期限期限といいますか4月を見据えて、どのタイミングで説明してく方がちょっとわかるような示し方にしようと思って、
0:20:55	はい。よろしくお願いします。
0:20:57	10日に出てきたときに、こちらとそういったところがわかるようになってるのかっていうところでの記載レベルに、認識がずれてたりすると、
0:21:06	10日まで待ってこれかっていうので入口でこけちゃうような気がするのでもよろしくお願いします。以上です。
0:21:14	はい。日本原燃仕様だけ承知しましたスケジュールの方は、先にお示しして今私が口頭で言った流れがですね、また見当違いのところになってないかといったのは確認いただきたいと思ってございました。以上です。
0:21:29	規制庁の館です。1点追加で確認なんですけど、これ、10日っていうのは、中身の検討に時間がかかるから10日なのか、それともそれを資料に落とすのに時間がかかるとかがかかるから10日なのかというと、どっちでしたっけ。
0:21:45	はい。日本原燃篠崎でございます。
0:21:48	あまりその資料に落とし込むというところに時間を使うつもりはなくてですね、やはりそのスタンスとしてお示しする検討にそれなり時間かかってるといところでございます。
0:22:00	生協館です。なんで口頭で説明するのも10日間議論されるのかわかんないけどそれに時間がかかるからどうしようもないんですけどいうことですかね。ただ10日のタイミングでは、今後のスケジュールとか、何をいつ示すのか含めて、
0:22:15	整理されてるといことで理解しましたわかりました。
0:22:26	それでは規制庁側から他に質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:22:32	ないようですので現認月説明の続きをお願いいたします。
0:22:43	よろしければ重大事故の方の説明は行っていきたいと思います。ちょっとウェブ参加してる堀口さん、いいですか。
0:22:51	はい。聞こえますでしょうか。
0:22:55	はい。聞こえます大丈夫です。
0:22:59	はい。
0:22:59	では経済部を2番説明いたします。

0:23:03	ナンバー21の、
0:23:06	8号の取り込みのパンフの部分に関しては、明日ヒアリングし予定にちょっと1日に出しております。
0:23:13	そしてナンバーそのあとの部分に関しては変更ございません。1ポツの部分に関して、
0:23:21	ちょうど理解が振れるような、今の資料、バー式のパックご意見をちょっと確認させていただいて、
0:23:28	近くで定めまして19人の方に進めるような、今の資料作成説明を努めるつもりです。
0:23:35	ナンバーの29番のところ、今回沖組み直しております。いっす。まず相関関係の部分として、竜巻の資料を3月3日に提出させていただいてその、この石場を、
0:23:50	明日、
0:23:52	今日限り提出できるように早い時間に出せるように、
0:23:56	今、検討、
0:24:00	をしているところです。それと竜巻と一緒に、こういった相関があるという説明をさせていただきまして、そのコメントにコメントの範囲というものを、
0:24:11	来週の月曜日にさせていただいて、その翌日である、14日の火曜日に、悪魔等に関する相関関係ってのがポイントだ。
0:24:22	こういうのであるというふうな説明を、
0:24:24	させていただいてそのあとに挿管したら、今度は、
0:24:29	その対象の形での説明、基本設計方針や、
0:24:35	S A Rの設計方針、
0:24:37	この代表の形での説明に移る。
0:24:41	移らさせていただきたいなとそれで1竜巻水を、同時に行わせていただきましてそのあと、他のコメントを反映した形で23行目のその他外部衝撃へと、
0:24:52	説明をつなげていきたいと考えています。
0:24:56	はい。それで、その都度ヒアリングの中でコメン等で、個別の室、ベント料対象によって、一部のそのS I M M E R資格を受ける部分が地域ずれたりとかってあるかもしれませんが、現状、

0:25:10	オープンたスケジュールで実施できるよう、頑張る予定で説明は以上です。
0:25:17	それでは規制庁側から質問ある方、お願いいたします。
0:25:25	規制庁高橋です。よろしいでしょうか。
0:25:30	はい。
0:25:31	はい。
0:25:32	すいません、コサクですけど、よろしいでしょうかって聞くのやめてもらえませんか。違う。
0:25:39	はい。
0:25:40	規制庁高橋です。続けます。
0:25:43	はい。1点確認なんですけれども、21番のところは、10、単純にその次日程がずれたから修正したというところかと思うんですけども、29番のところ、
0:25:56	修正がたったところで13日資料提出14日ヒアリングってなってますがこの部分っていうのは、大卒生活の方針的なところの確認というところなので、
0:26:06	日程を置かずにすぐに確認というようなPのようなお考えなんでしょうか。その辺のところもう少し、議題がありましたら、機械、説明してください。
0:26:17	#NAME?
0:26:20	この29番のところは相関関係を考えておりますので、
0:26:27	両カーに大きなコメントをいただいた場合にそのコメントの、
0:26:32	資料は磯野氏のコメントに対する説明ということで、13日というようなところは、そんなに時間を置かずに相関関係のクローズができるかなと思いまして、翌日にヒアリングし呼ばせていただきました。
0:26:47	以上です。
0:26:49	はい規制庁高部です。では、そこは8日のコメント次第ということでまた必要があれば調整するなり何なりということかと理解しましたので、そのように対応。
0:26:59	を考えておきます。私からは以上です。
0:27:05	それでは別途補足。
0:27:08	コサクですけど、8日次第っていうことなんですけどそもそも8日もです、

0:27:16	現状出てきてる資料っていうのが余りにイメージが違い過ぎてて、
0:27:22	どうすんのっていう感じがしています。で、それへの対応をしないと。
0:27:31	まともな話ができないので、
0:27:35	8日を踏まレバーというのはそもそも成り立たないような気がしてますので、その点を高梨さんもちょうと認識をして伝えていただければと。
0:27:45	ます。
0:27:48	合わせて、溢水も抱き合わせでやっていきたいということなんですけど、現状は午前中のヒアリングになってて、早めに出すと言ってもとてもじゃないけど間に合わないという感じなんですけどスケジュール調整。
0:28:01	はどうされるんですか。午後MOX入ってますけど入れ替えるとか調整してるんですか。
0:28:10	2っていうところの調整はまだしておりません。そこも、すべて調整して連絡に出す、連絡いたします。アスターでは、
0:28:20	明日、違う、あれは別だから、どこかでキャッシュ、
0:28:27	はい。補足ですこういった。
0:28:32	ものを書いて提出するのであればそういうことも事務局としては把握をして対応していただきたいと。
0:28:39	ます。
0:28:40	それで、現状出てる十時17の問題点。
0:28:47	また、ヒアリングじゃ、個別ヒアリングじゃないので、細かくは言いませんけど、
0:28:54	後ろについでる図面ワー添付書類の構成っていう話になっててそんなのはいいから、まず1ポツの説明してくれという話をしているのか。
0:29:05	何でこんなことやってるんだっていうのは何か言いわけありますか。
0:29:21	現在まとめて。
0:29:23	ハローです。
0:29:24	別添3の部分ですけども、DBとの受け渡しっていうところもあわせて、変更して進めたいと考えていたために、長くして、
0:29:37	磯山スタッフがですね、出した方っていう資料が来てて、
0:29:42	おりました。
0:29:44	以上です。

0:29:45	規制庁コサクです。
0:29:48	D Bへの繋ぎってというのは添付書類でどうつなぐのかではなくて、1ポツとしてどうつなぐのかという話をしなくちゃいけないと。
0:29:57	いうところなんですね。
0:30:00	D BのA、
0:30:02	必須に耐震なり水なり、のところに、要求事項としてどういうものを対応してくださいということ渡すということなので、まさに1ポツなんです。
0:30:12	そうする等、その図の前2、
0:30:17	記載をされている項目なり設備の類型を踏まえた表にしておられてですね。
0:30:25	書いている内容をちゃんと整理をして、その中でD Bと同じなのか同じでないのか。
0:30:33	違うものはなぜなのか、それをどういうふうに対応するのかと。
0:30:38	いうことを整理をすればよくて、
0:30:41	現状だとその表も、
0:30:43	少しその添付書類の意識を強くしちゃっていて、個別の説明書等、健全性説明書っていうふうに分かれちゃってるんですけど、
0:30:54	分けても別に構わないとは構わないですけど、
0:30:58	内容をちゃんとわかるようにしてくれということです。今だと全然書き足りてなくて、特に溢水で話題にするアクセスルートの関係とかは書いてないですし、
0:31:09	その点とかをよく整理をして、内容として、D B S Aとして書ききれていて、
0:31:16	それがD Bと同じなのか同じでないのかで、違うところはどういうふうにして、どういうふうなものを渡すという形なのか、その次に、
0:31:26	その渡すというのをどの場所でどういうふうに通してあげればいいのか、S A側がD Bが合っどちらでどの程度整理をするかと。
0:31:34	いう話に繋がっていくので、
0:31:37	後ろの図はちょっと1回捨てていただいて、表のところをちゃんと書き切るところの対応をして、
0:31:47	明日のヒアリングですかね、に臨んでいただきたいと思いますと思うんですけど。



0:31:52	現状出てる竜巻も対応していただき、水も対応していただきっていうことでいいですかね。
0:32:05	見直し。
0:32:16	はい、古作です。ちょっと音声聞き取りづらかったですけどわかりましたと言っていたと思いますので、
0:32:23	それで資料提示がいつになり、ヒアリング、何時ぐらいからできるかということで、事務的に連絡いただければと思います。お願いします。
0:32:38	それでは規制庁側から他に質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:32:43	ないようですので議員側引き続きの説明のほどお願いします。
0:32:53	イシハラでございますあれ、最初にお金やることあったけ。以上です。特にそちら側は終わりですという話をしようと思ってます。
0:33:02	はい。重野イシハラでございます。まず、二つ話をしようと思ってまして一つ昨日、また先週お話があったP P P S G関係の、
0:33:14	進め方今どうやって進めているかと、いうことでございます。まずP P 関係についてはすでに申請が事前調整なく生成してしまったんですが申請が出てる案件に対して、
0:33:30	P T側の要求核セキュリティ側の要求と、設工認安全審査あそこにですね、安全設計側の要求というのがどういう関係にあるのかと。
0:33:40	それぞれの関係を情報として整理をし、どういう順番で物事を決めていかなきゃいけないのかというものを整理をさせていただこうということ。
0:33:52	安全設計側ではどの条文の今回の審査の2-1なのか1なのかというところと関係するのかと。
0:34:03	どういう情報が関係するのかっていうのを整理をしてどういう順番で、日、
0:34:07	説明を進めていけばいいのかっていう考え方をですね、整理をしようと思ってます。その考え方は今週中には私のように思っていました。
0:34:17	今やってる中で若干、
0:34:21	難しいのが
0:34:24	溶液ですね冷却水の冷却等との関係があって、移動する溶液の関係が、情報がですねお互いがお互い鶏と卵の関係になっているのでちょっとこれをどういうふうに片付けていこうかというところを、
0:34:39	若干悩むかなと思っているところでした。

0:34:42	あと養浜関係は情報が取り扱える情報がですね限定的な情報になってしまう場合もあるので関係者を限定しないといけないと。
0:34:51	いうところ調整が必要だと思ってます。そういうこともわかるように、整理をして考え方を今週中に何とかご説明できればと思って、
0:35:00	サトウSGの関係のモック数が特に関係するところについては、第2回の申請対象の設備等SG、
0:35:08	PP関係Pも区内にPP関係につき入りますんで、その関係を整理をした上で、どういう説明をしていくかということ整理をしていこうと思ってました。
0:35:21	辻野関係の機器については今回第2回はですね、メインの機器が出ていないのであまり直接的に関係するSG機器っていうのがないというのが現状でございます。
0:35:32	第3回がメインになってます。ただ隣接して行って波及影響を考えなきゃいけないようなSG機器もありますので、そういうものは整理をした上で審査の中でどの条文の審査でどういう説明をしていくのか。
0:35:46	どういう情報を出していくのかということの整理をさせていただこうと思ってました。
0:35:51	PP推進関係の進め方今の現状は、そういう形で進めておりますということが1点目でございます。
0:35:59	2点目はMOXの進め方の方なので1個で1回来、いいですかね。
0:36:05	規制庁コサクです。
0:36:09	今週中に何らか資料提示をされるということで理解をしましたが、先ほど言われたPPB側の情報の扱いの関係ですけど、
0:36:24	こちらでPPの審査をするつもりはないので、
0:36:28	波及影響としてどう考えるのかっていうことだけ、その方針なりを聞ければ十分だと思うんですね。その上で波及影響を与えないという具体の確認はDBの方の審査でやればいい。
0:36:44	で、そ、その場では我々も情報共有を受けてPPB部門の方にコメント出しをする、或いは、場合によってはそちらの審査に同席すると。
0:36:56	ということで対応できますので、その点はすみ分けができると思ってます。
0:37:02	で、そういったところでの進め方っていうの認識共有が図ればということで、資料提示いただいたらPP部門SG室に共有をし、

0:37:16	まずはその際、
0:37:18	お互いどう進めればいいのかという認識共有は、面談の形で、
0:37:25	それぞれ同席してですね、認識共有した上で
0:37:31	こちらのヒアリングでやることっていうのは、ヒアリングでやればいいし、BPSD側の面談なりヒアリングでというものはそちらでやればいいしということにできればなと思いますけど、そんなイメージでよろしいですか。
0:37:44	はい、というふうにしてございますはいおっしゃっていただいている通り、の形だと思いますのでそういうことの情報がちんとわかるように今週、何らか指示を出させていただければと思います。はい。
0:37:57	はい。よろしくお願いします。
0:38:00	はい。2点目のMOXの進め方ですけども先日お話をさしていただいて、明日にはそれほど時間を待ってもしようがないので
0:38:11	考え方すでに作ってるものを関係者にばらまいて関係者のコメントをもらっているところで明日の段階で出せればと思ってました。
0:38:20	考え方としては、昨日のお話にも出た
0:38:27	3月の審査会合でまず1ポツの話ができるものが一体何があるかということであったり、3月4月5月、今後の審査会合でそれぞれどういう条文の、どういうものをやろうと思っているのか。
0:38:41	ていうことのターゲットを明確にしたいなと思ってました。
0:38:45	その上で、単独で走るもの、
0:38:49	並行して再処理と同時並行でやるものを、サーベ分類してですね、それぞれの進め方を、考え方というのを提示できればと思ってました。
0:39:00	まだ若干書ききれてないところというので今ブラッシュアップしているのが、再生と並行しているところを、どういうふうにMOXとして示していくのか。
0:39:11	本当に平行なのか、骨格はMOXでやって、単品の評価は個別でみたいな話も含めてですね、進め方をご提示できればと思ってました。資料としては明日の段階で提示をさせていただけるように、
0:39:26	準備を進めているところでございます。以上です。
0:39:32	それには、はい、細田です。ごめんなさい。鍛治さんどうぞ。

0:39:37	規制庁田尻です。ちょっと今の1点確認なんですけど明日プールはちいとして一応ヒアリング項目立ってるんですけど、別途の資料出てきてそっちのメインで説明する感じですかね。
0:39:48	はい。宮城西山でございます。先ほどのS Aとの関係で順番ひっくり返したりするとですねまた資料の提出等時間軸が合わなくなる可能性があるんで、
0:39:59	別途提示した上で考え方ですので木曜日の朝日家の中で考え方はご説明できればと思ってました若干引っくり返さ的にはヒアリングまで間に合わない可能性があるんでそういう進め方でさせていただければと思ってました。以上です。
0:40:16	はい。生協谷です。MOXの共通ハッチが再処理よりの再処理と違ううちゅうか最初にできてるっていうか、微妙に並びが違ったりするのでどうしてかなと思ってたところなので何をもとに説明するのかっていうところも整理をされてそうな気がしたので、
0:40:32	明日また話しければと思うんでよろしくお願いします。十分以上です。
0:40:38	それでは他質問ある方。
0:40:41	コサクです。
0:40:45	またそういったそのスケジュールの考えみたいなのは提示いただけるとのことなので具体はそれ見ながら話をしていければと思うんですけど。
0:40:55	再処理の状況として。今日の資料見る等、4月が結構2本、2-1の関係の説明が立て込む状況に、3月からずれ込んでると。
0:41:08	ということですけど、なるので、
0:41:11	その中にボックスも取り込めるものは取り込んでしまえば、
0:41:17	合理的に進むとは思いますが、
0:41:20	別のことをやろうとするとちょっとしんどくなってくるなど。
0:41:24	いう気がしています。
0:41:27	また3月の会合で
0:41:31	再処理があんまり進まなくなったので、より一層どうかっていう気はしますけど、
0:41:44	外部衝撃の関係について、MOXはその再処理の話にどう乗っかるのかのつかれないのかと、というようなことだったり、耐震はどうしていくのということだったりっていうのが認識合わせができればなと思う。

0:42:01	てますけど、そういうのを今整理中って思えばいいですかね。IPの西田でございます。はい。まさしくその部分でございます。はい。
0:42:10	昨日出ていった今日ですね出てきたスケジュールを見ながらも4月が大分きついなと思っていたのでその部分をどう、ボックスを入れ込んでいくかって話と、
0:42:21	昨日も神野さんからあった耐震とか並行でやるっていうと一体MOXと再処理の関係はどうなったというご指摘いただいておりますのでそういうところを整理をして、どういうふうに進めていくかという考え方が、お示しできればと思ってました。以上です。
0:42:37	はい、古作です。わかりました。では明日の資料提示を踏まえて確認をしていきたいと思えます。よろしくお願ひします。
0:42:46	規制庁側から他に質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:42:51	それではないようですので今日のヒアリングの振り返りと今後のスケジュールについて原燃が説明をお願いいたします。
0:43:02	はい。日本原燃の別府です。まず
0:43:05	振り返りということで外傷関係のスケジュールのところですけど、鷺見最初に悪くなってきたところがあるんですが、3月の会合で、累計して説明していくということ視野に入れながら、どういうことが説明できるかというところを、
0:43:22	社内で少し精査して、資料作りだったり共通12の準備っていうのを進めていきたいというふうに今考えています。
0:43:30	それから、溢水関係はですね、どれをいつまでに何するかがわかるように、示したコメントリストを準備して、提出してですね、3月10日に提出してご議論させていただきたいと。
0:43:43	その前にスケジュールにセルのスケジュールはお示しできるように準備したいと考えています。
0:43:49	それから衛生関係は図面とかそういう構成の話に入る前にですね、まず
0:43:57	個別とか訓練とかで書き分けていく内容ですね。
0:44:01	ルートが書いてなかったりもするので、DBとの違いだったり、どこでどうやって渡すのかという、表の部分をまずしっかり整理して、竜巻と溢水の方に展開していきたいと。

0:44:14	いうところをですね、OPP S G関係はまず資料提示して進めていくということなんです。先ほどの考えをお聞きしたいということでしたので、
0:44:26	どういったところがP P S 人に関して審査側で何やらないかというところを見えるように、認識共有していこうという話でした。
0:44:35	あと、ロック数は、3月、最初に進まなくなってきましたので、M O X と再処理で並行して進められる部分と、単独で進められる部分、
0:44:45	そういうところ何があるかというところをですね、今、資料を準備しますのでそちらの資料に反映というかお示しして、説明できるように準備を進めると。
0:44:55	ということです。全体の振り返りとしては以上になりますが不足してる部分があれば、
0:45:01	ご意見いただければなと思います。
0:45:07	特段件ございませんでしょうか。
0:45:13	では最後に規制庁側から連絡事項等ありますでしょうか。
0:45:20	ないようですので原因が、特段連絡事項等ありますでしょうか。
0:45:27	ではないようですので、本日のサカイの分はこれで終わりになります。ありがとうございました。一度録音停止いたし
0:00:00	録を返しました。
0:00:04	ございます。規制庁清水です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:10	本日はヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設と、あと令和5年2月28日に申請があったM O X 燃料加工施設の増設工認指針について資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:30	戸松は規制庁側の出席者を紹介いたします。鳥羽町会議室について出席者の紹介をお願いします。
0:00:37	はい、本庁側の出席者ですがセットガワになります。
0:00:43	その他W E Bからの参加で、コサクカミデオオオカオオハシタジリタケダタカナシ。
0:00:52	シミズ以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの役割について説明の上、本日の議題の構成をする
0:01:02	運営して、当資料の説明を開始してください。

0:01:07	はい。日本原燃事務局の中浜です。日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:15	まず事務局より、サトウ。
0:01:18	タカハシ、セガワ、藤野ナカハマ。
0:01:23	あと、本日の議題でございます共通中に取りまとめてシミズ、
0:01:28	あと外部衝撃関係の取りまとめで、蝦名。
0:01:31	構造関係の御説明担当で、坂盛田仲。以上となります。
0:01:39	本日ご確認いただきます資料でございますけど、
0:01:42	共通 0、共通 12 の対応方針についてというものを説明差し上げます。
0:01:48	それでは、説明の方開始させていただきます。
0:01:54	はい。日本原燃清水です。
0:01:57	本日午前中、提出させていただきました、共通中の整理方針ということで、
0:02:04	前回金曜日のヒアリングを踏まえまして、どのように資料の方を修正していく方針なのかっていうのを、
0:02:14	ご説明させていただきたいと思います。説明させていただくポイントポイントといいますか事項としましては、まずは、前回の説明の中で、こちらの資料に書いてあります類型分離の整理結果、1 ポツ両括弧 1 から、
0:02:30	両括弧 2 の構造設計の説明へのつなぎ、こちらの整理が十分でなかったので、そこら、その整備の状況の方をご説明させていただくっていうのが 1 点と、
0:02:42	構造類型の分類の話です、この両括弧 1 の類型分類の整備結果のエビデンスの設備リストの方に、
0:02:54	順番がさかのぼって、リスト上、表現したものを今後どう整理するんだというところの資料の構成の方の見直し方針のほうをご説明させていただくっていうのが 2 点目。
0:03:06	3 点目ですけども、もともと別紙 2 の構造概要の説明の中で、表で、条文要求から構造設計を展開するんだという整理表をつけておりましたけども、
0:03:19	こちらはいろいろ何点か後、ご指摘受けてますのでこれのリストの、
0:03:24	整理表の見直し方針の方、こちらの 3 点の方本日、ご説明させていただきたいと思っています。

0:03:32	あと、前回のヒアリングの中で、飛来物防護板の類型のお話についても、ご指摘受けております。
0:03:40	この点につきましては、前回の資料で、まだ築地としておりましたG A 建屋につきます飛来物防護盤、
0:03:50	と、鉄筋コンクリート造の飛来物防護盤の構造設計の整理表を今週木曜日の資料提出の中で、
0:04:01	資料を追加させていただいて、金曜日のヒアリングの中で、類型分類を整理するんだというところのご説明は別途させていただきたいと思っています。
0:04:12	それではちょっと資料の方、ご説明させていただきたいと思います。
0:04:16	まずは、累計分離の結果から構造設計の説明どう展開するんだということで、資料1ページ目になります。
0:04:23	中身としては両括弧2のところ、まず考え方の方考え、書いてございます。
0:04:29	まずは、累計2万5000円の申請対象設備を累計分離し、類した後の構造設計の説明の展開として、対象どういうものに対して構造設計するかという考え方としましては、
0:04:42	基本的には、既認可の設工認、
0:04:45	に対して、新規制基準施行の中で追加で技術基準適合を、の説明が必要となる設備がまず母数であると。そのうち、さらに、
0:04:55	その設備に対して、追加要求を踏まえまして、構造設計の説明を追加で必要なものをれなく抽出するというので、AからB1B4の区分ごとにどういうものを対象にするんだというのを、
0:05:09	1ページ目2ページ目に考え方を書いてございます。
0:05:13	Aの新設設備については新規に申請する設備ですので、すべて構造説明が必要だというふうに考えております。
0:05:21	立地の条件変更の設備につきましては、城壁変更に伴って、当然工事を実施するものは構造書いてますので、これらについてはご説明すると。
0:05:31	さらに条件変更に伴って、評価方法モデルを書いているものに対しても、その評価の内容で、構造説明を機に係る追加でご説明するべきものについても、
0:05:43	追加でご説明が必要だというふうに考えております。
0:05:47	AとBの条件追加につきましては、追加の評価。



0:05:52	をする観点の評価の観点から、牧委員からご説明した内容な評価部位の構造説明が必要なものについては構造説明が必要だと。
0:06:01	いうふうに考えておりますし、工事を行うものについても、構造の説明が必要だというふうに考えております。
0:06:09	2 ページ目の方いきまして、
0:06:12	B3 の新たに申請対象設備になったものは、これは申請新たに申請対象設備になったということで、構造説明が必要だというふうに考えております。
0:06:22	B 案につきましては、新新基準の施行の中での適合性説明の追加事項はないということで、これらについては、北條の説明は特に必要ではないと。
0:06:32	いうふうにまずは考えて、対象設備の方を抽出して整理していきたいと、いうふうに考えております。
0:06:41	はい、まずは1 点目の制度対応方針としては、この考え方で整理したいというふうに考えております。
0:06:49	続きまして、2 点目の扱いですね。
0:06:53	通しページの方。
0:06:55	すいませんちょっとめくっていただきまして、4 ページの資料の方、ご確認ください。
0:07:03	こちら、共通 22 の資料の全体の構成を示し、見直したい。構成のイメージをちょっと全体構成を示しております。
0:07:12	もともと、別紙 1 の右上にあります類型分類の整理結果、こちらのところにですね、まずは設計項目ごとの集約集計した、既設備の申請対象設備の分類結果の基数、
0:07:27	を示す資料と、さらにここにエビデンスとなる申請対象設備リストを別紙 1 ということで前回提示してございました。
0:07:37	今回はですねちょっと整理をちょっと変えまして、
0:07:40	まずは別紙 1 の累計の結果としては、設計項目ごとの集約結果のみを添付すると。
0:07:49	で、別紙 2 の構造概要の整理結果を踏まえて、
0:07:56	そちらの別紙の累計結果もすべて取り込んだ別紙 3 ということで、設備リストの方に必要な情報を盛り込んで、

0:08:06	別紙1 別紙2の結果を集約した技師等を一つ整理してお示したいと、 いうふうに考えております。
0:08:15	に戻っていただきまして、
0:08:20	2ページ目の方になりますけども、
0:08:23	具体的にじゃあその今申請書についての設備リストがどう変わるんだと いうところで、2ページ目の状況を踏まえ以降、具体の作業の流れを示 すのところでちょっと書いておりますけども、
0:08:34	もともと設備リストの、右側の条文のところにつきましては該当条文の ところ丸三角等を示しておりますけども、ここの中です、
0:08:45	AからB1Bを、
0:08:47	の区分の通りに該当するののかというのを各条文ごとにお示しして、
0:08:54	さらに、
0:08:55	先ほどご説明しました構造を説明する対象の考え方に照らして、
0:09:02	その条文要求で、構造説明が必要とならないものについては、B1'な りBに出しなりっていうのを、
0:09:10	条文の欄に示して、
0:09:13	対象としないものを明確化し、
0:09:17	最終的に機器で見たときに、
0:09:20	横軸でA BワンピースD IIIで、'がついてない記号が入ってあるもの、こ れが構造説明が必要な設備だということの抽出した結果を、
0:09:31	お示しして、さらに、別紙2の構造類型の中でどの分類で構造を説明す るのかというのを、BC3の設備リストの中でお示しして、
0:09:42	全体の関係性が示すようなリストになるのかなというふうに考えてござ います。
0:09:51	はい。続きまして、通しページ3ページのほうをご確認ください。
0:09:57	こちらはですね、
0:10:01	別紙に添付しております、構造設計の整理表をどのように修正するのか という、
0:10:07	方針でございます。
0:10:11	5ページ目。
0:10:13	もうちょっと表をちょっと具体的に見ながらご説明させていただきたい と思います。

0:10:20	まずは1点目として、基本設計方針を、当該整備表の中で記載しております。前回のヒアリングのご指摘の中で、第1章の基本設計方針もに対しても、
0:10:32	記載すべきではないかというご意見いただいております。
0:10:35	それを踏まえまして、
0:10:37	やっぱり第2章の基本設計方針の横に該当する、第2章の基本設計力の差に、はい、第1章の基本設計方針を示すということで考えてございます。
0:10:48	で、第1章の基本設計方針の対象として書くものにつきましては、ちょっと今、通しページのところで、2列で書いておりますけども、左側の
0:10:59	やっぱり全般的な共通な方針につきましては、特段、この整理表では示さずに、
0:11:07	構造設計に繋がるような具体的基本設計方針の方、右側に書いてある基本設計方針ですけども、
0:11:15	こういったものをですね、一章として抜き出してきて、
0:11:18	2章以降につなげて、最終的に構造設計の展開につなげていきたいというふうに考えております。
0:11:25	2点目ですけども、真ん中ほどに設計方針添付書類と書いておりましたが、
0:11:32	前回お示しした整理表におきましては、
0:11:36	添付書類の、
0:11:37	一つの書類から、構造設計に該当するところを抜き出して、
0:11:43	記載をしておりました。
0:11:45	前回のコメントご指摘事項を踏まえまして、そうではなくて、本文から添付への流れを踏まえまして、構造設計の説明の展開に関連する添付書類、
0:11:56	それらについてすべて抜けなく、この整理表の中で、横に繋がるように、抜き出していくということ、整理させていただきたいというふうに考えております。
0:12:09	3点目になりますけども、
0:12:13	右側真ん中ほどに、点々で囲っているところがございますけども吹き出しつけて、

0:12:18	もともと設計上の配慮事項と、横に展開している構造設計の説明、こちらがですね、関係がわかるように、ちょっともともと書きし表せてなかったという点がございましたので、
0:12:31	それらについてはちゃんと関係がわかるように、横に並べて、お示ししたいと、いうふうに考えております。
0:12:43	4点目ですけども、この整備の中で、
0:12:47	構造設計差分のところについても同じような設計、
0:12:52	の対応をお示しするところがございます。
0:12:55	そういうところはですね結果的にまとめられるところはしっかりまとめて、累計をした上で、この結果のほうを整理していきたいと、いうふうに考えております。
0:13:08	5点目としましては、前回の整理においては、
0:13:12	施設共通基本設計方針の方入口の方でちょっと対象から除外して整理しようということで整理してございましたが、
0:13:21	に関わるの区分に整理される新設設備につきましては、2を代表につきましにしまして、これらの基本適正方針についても、代表設備、
0:13:31	どのように行動設計したのかという整理の方をする必要があるという認識を持ちましたので、それらについては、えっとですね、構造設計の整理表ですね。
0:13:41	あれ通しページでいきますと、4ページ目の方の、
0:13:45	左下の別紙2の右のところを見ていただきたいんですけども、施設共通基本設計方針の整理表というのを、個別の機器でご説明するものとは切り分けて、一つ作成しまして、
0:13:58	この資料の中で、施設共通基本設計方針体制、代表機器でどう構造設計してるんだということのご説明できる資料を一つ追加でお示ししたいというふうに考えております。
0:14:13	はい。ご説明は以上になります。
0:14:20	はい。規制庁志水です。それではこれまでの説明に関して規制庁側から確認があればお願いします。
0:14:32	規制庁の田尻です。
0:14:35	ちょっと確認したいんですけど、これは前回のヒアリングから何か整理が進んで、前の時点である程度まとまった部分をパワポに落としてこられた方がわかって、

0:14:47	こういうふうに整理しようと思ってるんですけど、前回指摘して、ど、具体どう整理するかところまではまだ進んでないと思えばいいんですかねそれともう、
0:14:58	これで意識作業ができそうな状況と思えばいいんですかね。
0:15:06	日本原燃清水です。
0:15:09	大きな修正方針としては今後、ご説明の中でお示しできたのかなと思ってます。ただ、それを踏まえて、別紙3の設備リストの記載を具体的にどうするんだって話であったり、
0:15:24	施設共通基本設計方針整理表というのを、具体的にどういうふうにかいていうのはちょっと、
0:15:31	今週の木曜日、提出資料の中で具体のイメージを付けをお示しして、またご議論させていただきたいと思ってるんですけども、多くの方向性としてまず、本日も説明させていただいております。
0:15:49	1 規制庁のタジリつ、
0:15:52	方向性の議論ちゅうことはわかったんですけど、頭の方からまず言っていて、まず類型分類の話に関しては、ここは別に前回会合までからの情報で何かが進んでるかっていうと、あまり変わってないような気がするけどまずその認識であってません。それから、
0:16:09	追加工事とかそういうやつとかの話とあと、
0:16:12	絶えず意識俎上に乗せますよちゅう話ぐらひは増えた気がするんですけどそれ以外って何か追加の情報ってありましたっけ、その項目。
0:16:21	はい。日本原燃清水です。
0:16:23	整理の仕方につきましては追加情報というのは、今、特段なくて、この別紙3の設備リストが、別紙、別紙2、それぞれの情報を、
0:16:35	まとめるというところが、前回のご説明からの変更点になります。
0:16:43	規制庁田井です。メインは、4ページから4ページのところにあるように、最終的にどの形で整理するかとか表を、最終的に1個に求めたんだと思うんですけど別紙1で前まで表紙みたいなところについてたやつがあつてで、
0:16:58	別紙2で前まで兵頭図とかで合わせて使ってそれを集約すると一番最後載せるっていう順番の流れを整理しましたっていうのが一つの大きな話ですか。
0:17:09	はい。日本原燃清水です。はい。その認識の通りでございます。

0:17:16	規制庁田井です。で、別紙3が具体的にどうなるかっていうとそれはまだなくてになるんですかね。こんなことは、中身自体は昔ですと変わらないんですかね。
0:17:28	日本原燃清水です。
0:17:30	基本的に、中身として変わるものとしましては、条文のところを単純に0ではなくて、条文の欄の丸のところに、
0:17:41	飯野他AであったりBの何番というのを示して、条文ごとにどのカテゴリーで、累計したかっていうのをわかるようにお示ししたいというふうに考えておりました。
0:17:54	今日タジリですんで申請書について設備1でこれ申請者について設備リストだと0のところを今言ったようなBとかに分けるっていうのはなCでいいですかね。
0:18:06	なんかちょっと差分がよくわからなくて、もともと添付についてるやつと今回の整理でついてくるやつが何が違うかっていうと、今言われたところ、
0:18:15	はい、日本原燃清水です。はい。
0:18:18	の情報を集約するという意味では、今の点と、申請書の設備リスト化が増えるというような工事の有無であり、金であったり気にかかる変更点という点は増えます。
0:18:29	あとは、別紙2の構造類型の分類をどの分類で整理させたのかという情報が増えるという認識でございます。
0:18:40	規制庁田井です。前回までは条文が縦にあって0とかだけだったと思うんですけどそこにBとかを書くことにしたっていうのは、具体的に設備構造を示さなきゃいけないものとかを差別化したいからですかねでも、B、
0:18:53	技術とかで書かれてるやつの中でも、あそこ評価しない直をつけるっていう話だからそれで差別化するって言うてるんですかね。
0:19:01	はい。日本原燃シミズですはい。はい今の田尻さん認識の通りでございます。
0:19:09	はい。規制庁田尻です。ちょっと1回どう出てくるかわかんないですけど。
0:19:14	何か見やすくなるのかっていうところろうではあるんですけど元から小さい表の中で'で判別して食うっていうことですねとりあえず。

0:19:23	その上でなんですけど、これ出しがつかないものに関しては、話があったんですけど、
0:19:30	あれし整理だけでいうと耐震とかでやっちゃうと大体拾えちゃう気がするんですけどあれは何か、要は安重じゃないやつとかが省けそうですよとかそういう話ですか。
0:19:42	はい。日本原燃清水です。そういう意味で言いますと、
0:19:48	非安重麻痺安重のもので、B4のカテゴリライズしかないものであったり、
0:19:56	安重の防護対象になるものであっても単純に、建屋内に置くだけであって立つ竜巻から、防護する対象ではないっていうものが、竜巻の観点で構造説明ありません。
0:20:08	ただ、地震の観点で、モデルの変更とかしているものであれば地震の観点で構造説明が必要だという整理であればその部分は必要だという整理になります。
0:20:20	成長タジリです。
0:20:22	どっちがいいというわけでもないんですけど整理だけで言うんだったら、丸と三角とかでも、何か分けれるレベルな気がするんですけど、とりあえずそこもBとかにした方が見えやすいっていうのが今の原燃の整理ですかね。
0:20:38	日本原燃清水です。
0:20:40	今、イメージでちょっと資料の形を考えておましてちょっと見やすさという観点をもう少しちょっと検討する必要があるとは思っていますので、
0:20:51	ちょっと木曜日の資料提出の中で具体的イメージをちょっとお出しして議論、ご議論させていただきたいかなと思います。
0:21:01	清規制庁の田尻です。何か、どれじゃなきゃっていうのちょっとすいませんものが見えてないせいでわかりづらいただけかもしれないんですけど、各条の狭い欄にD2値とかをいっぱい書くところに注意力でも仕方ないものだったと僕は思っていて、
0:21:17	それぞれの関係性を整理しながら整理しましょうっていうのは別に良くて、前まで、評価途中にあったようなやつを一番最後に持ってきて、結論として最後に出てくるような形にするっていうのもわかったんですけど、
0:21:30	何かメインどころの話そこでもなかった気がするんですけど。

0:21:34	何か具体的に何か下のCの表後で整理できましたっていうんですけど、これ別紙2のところ具体的にどうするかとかっていうのは整理進んでるんですかね。
0:21:54	すいません、大坂です。ちょっと話が変わっちゃったので、
0:21:59	まずリストから私も確認したいんですけど、
0:22:03	この別紙3って言うてるのは、条文ごとに作るんですと。
0:22:10	日本原燃清水です。
0:22:12	今我々が考えていたのは、条文ごとというよりは、一つのリストの中で、
0:22:19	上限ごとの縦軸の中に、
0:22:23	その類型分類の結果をお示ししたいなというふうに考えていて一つのリストをイメージしておりました。
0:22:31	古作です。そうすると、
0:22:36	藤。
0:22:41	構造説明としてはどっかに寄せるっていうこ等であって、寄せるもの2色をつける。
0:22:50	でしたかね。
0:22:53	はい。日本原燃清水です。はい。構造説明の観点、どの条文で主に説明するのかというところに色をつけると。
0:23:03	さらに関連条文をまた、すいません、主要な条文は関連条文はオレンジ色で示したいというふうに考えておりました。
0:23:13	と、そこでそのオレンジ色っていうのは、
0:23:19	代表としてその図面をつけるものじゃなくても、一通り間、'だったりがつかないものっていうのは全部色をつけておきますっていうことですか。
0:23:36	日本原燃志水です。今のコサクさんのご質問は、そこ、別紙の構造類型の中で類型化した際に、
0:23:46	代表で説明されるものとその内数に整理されるものの関係の色分けのお話をされたという理解でしょうか。知久コサクで違うくて、
0:23:57	だいたい色にハッチングするって言うてる関連条文。
0:24:01	っていうのは、何じゃらこっていうただそれだけなんですけど。
0:24:05	前、



0:24:08	何らか、当然そのリストに入っているっていうのは、基準適合で説明がされるわけで、
0:24:16	主条文関連条文必ずあると思うんですけど、
0:24:20	な、菅条文関係あるんだったら a なり b なりって、必ず入ってくると思うんですが、
0:24:28	な、大体色に塗ってどういう意味ですか。
0:24:33	はい。日本原燃清水です。
0:24:36	だいたい色に塗るものにつきましては、
0:24:43	関連条文で、その機器で敷設適合性説明をしなきゃいけないものをまずオレンジになると思ってた、持っていました。その中で、
0:24:53	コサクさんにご質問があった。
0:24:56	すいません、A から B - D A S H がついたものに対しても、オレンジの色を塗るのかというご質問いただいてないです。
0:25:07	る意味は何ですかって聞いてるんであって、
0:25:09	はい、ぬるは日本原燃清水です。る意味としましては、
0:25:14	俺ん青の主条文以外のオレンジ色も適合性説明が必要な条文でありますので、それに関連する構造を説明するという意図でオレンジ色を塗るという考えでございました。
0:25:28	古作です。それで言うと、
0:25:30	2 ページで書いてある、三つ目のレ点の B ワン' B 津田修ビフォー%。
0:25:39	いうもの以外は、岡、ダイダイ色に塗られますってことですか。
0:25:45	はい。日本原燃清水です。はいその理解でございます。
0:25:51	はい、わかりました。その上で
0:25:56	申請書添付についている設備リスト N o ん丸三角みたいなのが I b 湾というふう書き換えられていくと。
0:26:04	いうところ
0:26:08	で、さらに色がつけられて、
0:26:14	藤修条文と言っている青ハッチングのところ、
0:26:21	各場での説明の集合体が整理をされ、
0:26:25	その際に関連条文としてどういうものがあるかというのでの包含関係を見て、サンプルに出す。
0:26:36	ものっていうのがどんどん抽出されていくと。

0:26:39	で、注意されていた結果、サンプルになるものは自分でやりますよ、説明しますよってということですけど、
0:26:49	それに包含その説明に包含してますよっていうものは、どの説明で、
0:26:55	包含してますよっていうものを、リンクを貼ると。
0:26:59	ということだったと思いますけどそのリンクは結局青ハッチングの条文のところで、
0:27:07	関連させるん。
0:27:09	ものというところなので一つの枠で説明し切る。
0:27:13	ていうことでよかったですかね。
0:27:19	はい。稲毛西井です。はい。菅関連性が高い青ハッチングのところで、
0:27:24	お示しするということと、設備リストの、すいません前回別紙
0:27:31	別紙1でつけたりその中で、さらに別のですね設備リストが一律足しまして、
0:27:37	別紙2のどの種項目で、それを累計して説明しているんだというひもづけもしようと思っておりました。
0:27:45	はい、小崎です。それは残るんですよっていう、別紙3のところに残るんですよっていう質問をしたんですけどそういう理解でいいですか。はい。日本原燃志水です。その認識で問題ございません。
0:28:00	はい、古作です。一応そのやりたいことはわかりました。
0:28:04	多賀田尻が気にしていたところのその'で見分けできるのかっていうのは色がつくつかないでわかりますよという答えなような気がしましたけど。
0:28:17	前回なり、会合での話としては条文ごとにリストを出しますということ
0:28:24	を、 あったんですけど、
0:28:26	共通12としてはまとまっててもいいとは思いますが、
0:28:33	そうした理由だったり介護をどうしますとかっていうのをちょっとお話していただけますか。
0:28:46	はい。日本原燃清水です。
0:28:51	まずは、まとめた理由につきましては、
0:28:56	やはり
0:28:59	一つの機器に対して、それぞれ各条文でどういう等類型分類の結果になったのか。

0:29:09	ていうことをトータル見て見た上で構造説明をする必要があるというふうに考えまして、それをちょっと日英と、別紙1別紙2の両方の観点で、
0:29:22	整理しようと思ったときには、そういう整理が必要なのかなというのがまず考えたところでございます。
0:29:29	会合に向けてではございますが、すみませんまだちょっとそこがしっかり、ちょっと私の中でも整理できてないところでございますが会合で市田を、
0:29:40	あの形で今後ご報告させていただきますというのは、前回の会合でご説明しているところでありますので、
0:29:48	会合2-2に向けたエビデンスとしましては、そういったものを共通の参考なりで、
0:29:57	その別紙3を、条文ごとに分類するとどうなるんだっていうのをちょっとお示しする必要があるのかなというふうに考えました。
0:30:07	古作です。
0:30:11	結局わあ、
0:30:15	等、
0:30:17	会合に出していただいた資料も、関連条文全部並べていて、その時はルート型でしたけど、
0:30:27	その符号が変わるという古藤だけという意味では、
0:30:34	何が違うかといえばその条文青ハッチングのもの。
0:30:39	だけに抽出をしてあると。
0:30:42	ということ
0:30:45	共通12の別紙3の加工品がそれぞれ部分集合として順次提示されると。
0:30:55	ということになるのかなあと思いましたけどイメージはそういうことですかね。
0:31:01	はい。日本原燃清水です。はい。今おっしゃっていただいたイメージで対応したいと思います。
0:31:08	はい。補足です。そうする等、
0:31:13	加工されるってということになるので、加工する際にはですね
0:31:21	この間やられた通りだと思うんですけど、まずは当該条文と等価条文ハッチングということで、抜き出す。

0:31:28	ということで、その際2 a、b ワン' B     出すみたいなのはどうします。
0:31:42	この間は確か入れてなかったんでしたよね。
0:31:48	あれ、入れたんだけど符号付ついてないってということだったんでしたっけ。
0:31:52	はい。日本原燃志水です。前、今古作さんおっしゃっていただいた通り入れたんですけども、久郷が今つけてなかったというのが前回の資料です。
0:32:03	コサクです、
0:32:06	まずつけるつけないってのがありまして、もう一つはあまりその羅列してるだけでもう非常に見つらいってということ。
0:32:16	前回ヒアリングで申し上げたと思うんですけど、
0:32:19	ここまで整理されているのであれば、青のやつを抜き出すとともに、そこからAのもの、B湾のものB     のもの、B案'率、
0:32:32	'のものというようなところで、また
0:32:36	仕分けをして表を作ってください。
0:32:39	それも並べかえとして、代表のもの。
0:32:44	の集合体に寄せて、
0:32:46	いただくってすると、
0:32:49	見やすい表になってくるかなと思うんですけどいかがですかね。
0:32:55	日本原燃清水です。はい。今おっしゃっていただいたまとめ方をするとより見やすくなるというふうに考えておりますので、ちょっとこのまとめ方の方をですねちょっと具体のものをお示ししてちょっと
0:33:09	イメージのもとすり合わせていきたいと思います。
0:33:14	はい、古作です。わかりました。そうするとB   b スってというのは、結局その安重だよね   Uだよねとかっていうので、何度出しても変わらないってというようなことになるので、
0:33:26	省略しますって言われても何となく納得感があるかなっていう気もするので、
0:33:32	1度出していただいて、そこら辺の認識合わせをしていければいいかなと思いますのでよろしくお願いします。
0:33:43	はい。稲毛シミズ了解いたしました。
0:33:48	規制庁の館です。今のやりとり聞いていてようやくイメージが少しわかってきたんですけど、

0:33:54	ちょっと1点確認なんですけど3月3日にヒアリングしたときの表が後ろにくっついてたやつ、左側にあったAからB、B3B4で書いてた欄は、右側に溶け込むから消えるんですかねその場合に対策設備とか波及影響とかの別を書いてた要素ってどっかに行くんですけど。
0:34:17	日本原燃清水です。
0:34:19	今、右側に寄せることをイメージしてたんですけどそうすると、設計部項目の内訳が、
0:34:27	さらにこの条文の右側の表に書くことになってしまってわかりにくくなるのでそこは、
0:34:34	左側に残した方が表としては見やすいかなというふうに今ちょっと考えました。
0:34:41	規制庁館です。なんで前までAからB4の列があったところは、丸ついてたところに溶け込む形になっていて、対象設備がどんな設備なのかっていうところと、
0:34:53	当概要設備の累計の話の欄っていうのは、何らかの要素でそこに残って、今、見やすくする方法私を検討してるけどっていう形で情報としては残るってことですかね。
0:35:04	はい。日本原燃清水です。はい。情報としては残す方向では考えております。
0:35:10	コサクですそれ次話したかったんですけど、
0:35:16	本当にそれで大丈夫っていうこと
0:35:20	主条文について書けますっていうのはそれでいいと思うんですよ。
0:35:25	なんですけど、それでいいと思うんですよ。関連条文にだって同じように分類ありませんかと、いうことなんです。具体イメージしようとする、今日の4ページの別紙1のところを見てもらうと、
0:35:40	A、A Aってあっても、対策設備と対象設備と、
0:35:46	という。
0:35:47	色づけがあってですね。
0:35:49	それを付記していたはずと。
0:35:52	いうことなんですけどこれ条文によって違うじゃないかと。
0:35:55	いうときに、
0:35:57	関連条文についてどうしますっていうのは、どう考えますか。
0:36:09	日本原燃清水です。

0:36:13	ある部分ですね、関連市場部のことだけをちょっととらえてお話してましたが、関連条文になると、
0:36:22	区分が変わったりします。ですね、そこをまたすいません。
0:36:32	左の中でそれぞれの条文ごとを書き足すと縦が増えていきますので、
0:36:37	ちょっともう少し待ってちょっと考えたいと思いますが、
0:36:42	どうしようかな。
0:36:43	諏訪。
0:36:44	はい、古作です。なんですよ。で、この細分化の項目って書く上具体的にどんなものありますと。
0:36:54	いうこと
0:36:57	違いが出るか出ないかっていうことと、あとはどう表現していくと良いかということなんですけど、
0:37:05	先ほどB I b IIのところは'つけるつけないというようなことがありましたけど、'というよりは、なんか丸数字だったりー。
0:37:16	何、何か別の符号だったりというので、
0:37:23	書いていただいてその符号って何っていう時に、
0:37:27	①だったら、この条文の①は、竜巻防護対策です。②は防護対象ですと。
0:37:36	いうことでそれぞれの説明を一番最初の
0:37:41	行なりに書いて、
0:37:43	いただければ、一応表示にはなるかなと。
0:37:48	思うんですけど。
0:37:51	まず、
0:37:52	A一案で、思うところでは言えっていうことなんですけど、いずれにしてもどんなものがありますかっていうことを踏まえてどこまで表さなきゃいけないかということかなと。
0:38:04	日本原燃深淺ありがとうございます。ちょっと各条文のその設計項目の分類もちょっと見据えて、
0:38:13	上手くちょっと表現する方向今の丸数字であったりっていうのを使いながらなりを、ちょっと考えさせていただきたいと思います。
0:38:22	はい。補足ですよろしく申し上げますその上で工事の無駄に何なりっていうのは共通の話でしょうから、ここに書くというよりは

0:38:31	左の欄に、ただ書くだけでもいいのかなと思いますので内容に応じて、整理をして見てもらって、
0:38:39	認識合わせられればと思います。
0:38:54	とコサクですけど、別紙3、
0:38:58	なり、それに関連する別紙1だったりっていうところで、
0:39:04	確認したいことが他にあれば言ってもらったらいいかんと思うんですけど、ほかにありますか。
0:39:22	コサクです。なさそうなので別紙2の関係で田尻さん、どうぞ。
0:39:29	はい。規制庁館です。別紙2、江藤城井で5ページのところなんですけど、まず前回の話あったところから条文があって基本設計方針と言っても、共通的なところから第2、第2章第2節か何かで書いてるところから置かれてる。
0:39:46	ので、そころ分けながら書きましたとかってのはいいんですけど、右側のところになって恐縮なんですけどここって、何かもっとまとめて書かないみたいな話とかそもそも分ける意味ないんじゃないかとか話があった気がするんですけど、ここは、
0:40:00	何かまだ修正中ですかね、ちょっとどこまでがこれ、何か記載内容は精査中ってあって、どこまでが整理されてるかわかんなかったんですけど。
0:40:13	日本原燃清水です。
0:40:15	今、田尻さんのご質問があった右側をまとめるというのは構造設計のところの列のことでしょうか。
0:40:23	規制庁谷井ですそうです。
0:40:25	日本原燃清水です。そういう意味で言うと今の資料のステータスですと、そのまとめた形はですねまだちょっとお示しできてなくて、
0:40:33	3ページ目でまとめますということだけしか書いてなくてそのイメージはちょっと、
0:40:38	木曜日の資料提出に向けてこのイメージを今、整理しているところでございます。
0:40:45	規制庁館です。とりあえず認識だけ合わせておきたいんですけど、基本的にはあまり細分化してこういうふうに分かれる形ではなくて、共通的に書けるところは変えてくイメージでよかったですかね。
0:40:56	はい。日本原燃清水です。はい。差分のところでも、共通的に書けるところは、まとめて結合してし、お示ししたいと思っておりました。

0:41:08	はい。規制庁堀田です。
0:41:10	この部分進捗はしてなさそうなんでちょっと1回すみませんであれば今聞いても仕方が進んでちょっとだけ左に戻ってたんですけど、だけど本文添付の流れで書いてたときに、前回も話あったんですけど、
0:41:21	現状の申請書には書かれてないと思うんですけど結局設計上のこういう事故っていうのと本文添付との関係を一応聞いておきたいんですけど、これはここ今後書く内容と今書いてある内容になるんですかそれとも、
0:41:35	何か今別枠で書いているものは結局どういう位置付けに最後になるんだっけ前回の若干復習になるんですけど、
0:41:42	日本原燃清水です。設計上の入り、配慮事項のところは今の現状の申請書でかけ十分かけてないので、ここを左の添付書類の設計方針の、
0:41:54	構造設計のところ溶け込ませたいというふうに考えてはいるんですけども、今はまず、必要な情報を、この整理の中では並べた上で、
0:42:06	その次のステップとして申請書道徳小松っていう議論をちょっと整理していきたいというふうに考えておりました。
0:42:15	規制庁たりですなんで、とりあえず、設計上のこういう事項までのところは、今現状どうかっていうので差分はあるものの、いずれにせよ申請書に何かしら書くもので、かつ、今時点で情報として構造を示す意味で示さなきゃいけないものを、概略というのが正しいのかわかんないんですけど書いてこうしてるとまず思っときゃいいすかね。
0:42:37	はい。日本原燃清水です。はいそのご理解の通りです。
0:42:45	はい。規制庁館ですわかりました。ちょっとすみません行ったり来たりで申し訳ないんですけど3ページのところに少し行かせていただいたんですけど、
0:42:56	もうこのところでなんですけど、今言った周辺環境等のところでなんですけど、累計した設備の構造設計の差分に展開するためのインプットとなることからっていうので、差分の関係が明確になるように横に並ぶように記載するっていう話で書かれてるけど、これってどういうイメージでしたっけ、前回の時って1列でしたよね、多分。
0:43:15	日本原燃清水です。
0:43:17	このイメージとしましては、前回お示しした事項ですと、
0:43:22	設計上の配慮事項が複数ある場合は、一つのセルにまとめて書いて、



0:43:29	横野能勢設計の説明とつなぐ繋がるんだという並びを関係性が並ぶよう にお示しできてなかったなので、その点はしっかり設計の配慮事項の項目 ごとに、
0:43:42	一つずつ分けて、横の構造設計との横の関係をお示ししたいというのが この記載の意図でございます。
0:43:51	規制庁の田尻です。その通りなんですけど左側のこの類型或いは周辺環 境等とかの項目と、横、さらに横に出てくる構造設計の内容、
0:44:02	ていうのは、結局両方申請書に書いてあるもの、すいませんちょっと関 係がわからなくなってたんですけど、横に並ぶようになってるので関連 する項目で並べばいいと思うんですけど周辺か配慮事項ってというのは、
0:44:15	割と大枠の設計方針みたいのが書いてあって、構造設計2とそれが具体 化されるんですかね。
0:44:23	はい。日本原燃志水今、資料として、お思いとしてはそういうふうに、 資料の作り込みたいと思ってて、ちょっと記載、思いとしてはそういう ふうに、
0:44:34	企業体は、それに追いついてるのかってのはちょっとSURCしっかり 必要なところでございます。
0:44:42	はい。規制庁の田尻です。どこにどういった情報を入れるカーの整理に はなると思うんですけど、結局、その右側のところに出てくる個別の設 計のところ、
0:44:54	今、もともと5ページに書いてあるようなやつでもう割となんか肥田梨 衣。
0:44:59	と、たまに何か詳細情報書いてるやつがいるんですけど左と何かあまり 変わらない情報が何か書いてあるときとかがあるんですけど、
0:45:06	この資料に置いて、何まで具体化しようとしてるかっていうと何かパラ メータチックな話も所々書いてあるんですけどそういう話書こうとしてる んですかね、何の情報を構造設計に入れていこうとしてるかなんですけ ど。
0:45:26	日本原燃清水です。
0:45:28	構造設計の中では、具体の数値といいますかパラメーターみたいなとこ ろまでは書く。
0:45:38	方針ではなくて、

0:45:40	あくまでもそういう設計上配慮事項制限、制約事項みたいなものに対してそれを、
0:45:46	土下座具体の構造で対処したのかっていう考え方をお示したかったものでして、
0:45:52	パラメータというところまでは、すいません書かないようにしたいと思っておりました。
0:45:57	はい。規制庁谷です。なんであの周辺環境とかってやつ設計としてどうやっていきますよ。いや前のやつ今5ページで示されてるやつなんですけど構造設計のところで、
0:46:08	上に共通的な設計方針みたいないってそこにさらに個別にぶら下げますって言って詳細をやったので、その上に分書いてあるやつとその横に書いてある周辺環境ってやつがまた同じ内容にならないかなと思って聞いてはいたんですけど。
0:46:21	今のお話だと周辺環境とここに書いてあるのが、共通的などういふふうに設計しますよって話が割合書いてあって、構造設計のところは、図面で具体的にこういうふうになってますよっていう図で示すもの。
0:46:34	イメージが置くような文言をここに書いてあると、とりあえず思えばいいですかね。
0:46:42	やっぱり日本原燃清水です。はい構造設計のところについては、
0:46:47	はい具体的にここ、この後で出てくる構造概要でご説明したいこと、もう、しっかりこの表の中で、
0:46:56	趣旨をお示ししたいというふうに考えておりました。
0:47:01	すいません、カミデですけど。
0:47:04	構造設計のところ a b 建屋とか A B C 建屋の 5 番とかで欄を作っちゃうと、たまたま竜巻だから、これぐらいいい。
0:47:15	の表で収まっている気はするんですけど、
0:47:19	配信だとか在庫だとか他の条文行ったときに、メッシュで分けちゃうと大変なことになりそうな気がするんですけど、何か見通しとか、
0:47:33	あ、すいませんコサクです。
0:47:37	まず、前回言った通りこれ一、構造設計横軸これ並べるのは、まず、サンプリングの考えからありえなくて、
0:47:49	今上出が言った通りではあるんですけど、今、登場人物全部並べた上で同じです。同じですって書くような感じになっちゃってるけど、

0:47:58	累計として、
0:48:00	集合体が100個になったら横軸100になりますけど大丈夫ですかっていう。
0:48:05	古藤だと思うんですよ。
0:48:07	そんなわけではないと。
0:48:11	思うんですけど、結局、サンプリングしたものをどう表すかじゃないですか。この1、表は、
0:48:22	防護盤については一つの表にあらわせます。で、5番についてサンプル数が五つになりましたので幾つ横に並べましたっていう、今、作りになってる。
0:48:33	4に感じるんですけどまず現状の理解はそうですかね。
0:48:38	はい。日本原燃志水です。現状整理はそうしてどちらかというところらの今お示ししているものは、
0:48:47	どちらかという、何かの整理の過程のもの何ですかねイメージが強く、これをしっかり類型化して、おっしゃる通り、
0:48:57	サプリン母数が多いと横にすごくなりますのでそこは最終的にはまとめてお示しするのが最初はアウトプットだと思っておりました。
0:49:09	はい、古作です。そうしたときにはこの構造設計って、一つの欄でよくて、
0:49:18	この項目はどのサンプルで説明するものです。
0:49:24	通番の何番見てください。
0:49:27	というぐらいで十分であって内容はもう配慮事項のところを見ればわかると。
0:49:32	いうぐらいかなあと思ったんですけどどうなんですかね。
0:49:38	日本原燃清水です。構造設計を類型化してご説明しますというところですのでおっしゃる通り、構造設計の率は一律になってその差分の説明の中で、差分がある系機器はこの概要図を使って説明するとか、
0:49:52	ていうのを何個かを縦に書いていくという整理でまとめていきたいと思えます。
0:50:00	はい。補足です、今の差分っていう話でいうと、
0:50:05	今日のやつだと、上から4行目ぐらいですかね、まだ集約できてないのか。
0:50:14	差分があるからなのかよくわかりませんが点線で囲ってる部分。

0:50:20	どこの料理の仕方ってということだと思うんですけど、これもただ並べるといよりは主に説明するのは、基本こういうもので、
0:50:31	ただ、こういう違いについてはこう対応してますということで、その関連性がわかるように、
0:50:39	嚴重に書いていくと。
0:50:41	横に並べるといよりは順々に書くということで説明されたと理解をすればいいですか。はい。日本原燃、清水です。現状そうっておりませんが、そこを目指したいというふうに考えておりました。
0:50:57	はい。補足です。それは違いの理由みたいなのも書いていただくと、
0:51:04	基本はそうなんだけどこういう場合はこうなのねと、非常にわかりやすくなり、あと、前回も少しお話ししましたが、複数の図面で同じようなことの説明があったりなかったりっていう、
0:51:17	ところありましたけど、こちらで主に説明するのがどこだよと。
0:51:22	ということがわかれば、それ以外は、
0:51:26	個別部分的なほそ食うをするための図面でやってってということだから、主なやつで説明したものは書いてませんと。
0:51:36	いうことはこちらを見てわかるということかなと思いましたがそれでいいですかね。
0:51:43	はい。日本原燃清水です。はい。
0:51:46	はい。今小崎さんおっしゃっていただいたように主で説明するもので、概要図の方も、それは代表をもって説明して、その関係性は、
0:51:55	別紙3の中田なりで関係性が見えるようにしたいと思っております。
0:52:00	はい。補足ですとそうすると、前回、
0:52:04	説明で、クリアランスの話をしてたようなときに、
0:52:10	それはこっちの対応でとかっていうので飛び飛びになったりしましたがけど、基本は図面としては同じ場所で1時金見れて要求事項は各表からかもしれませんけど、
0:52:22	概念としてはなるべく同じ場所で見れるようになってくるのかなあと思っています。だけど、
0:52:30	合ってますかね。
0:52:32	はい。日本原燃清水です。はい。そのように、

0:52:35	したいと思ってまして。さらにクリアランスに対しても、対処の仕方が異なるのであれば、それごとにちょっと、はい。どういう対処をしてるのかっていうのをしっかりお示ししたいと思います。
0:52:50	はい。補足です。
0:52:52	ある程度気にしてたところは認識いただいてるようなので、
0:52:59	カミデさん、田尻さんにお戻しします。
0:53:04	カミデですけど私は話したいところを今してもらったので大丈夫。
0:53:10	田尻ですけど自分も一番最初で集約してないってところの話、解決いただいたので、それでいけるかなと。
0:53:19	そうですね違う。さっき別紙3のところと、図をリンクさせるような話が出たんですけど別紙3のところでは条文が書かれていてで、図はどこで使うって話があるので、
0:53:32	そこを追っていけばいけるって話ですよねなんか別紙3にずっと働くわけ、番号だったら口話じゃないですよ。
0:53:38	日本原燃清水はいすいません。私の説明が下手くそではい。図別紙3水野伴をずらずらかというわけではなくて、
0:53:46	どの分類にこの基金おさまっているのかという、類、別紙2の種類の分類を示すということをお願いただけでございます。
0:53:56	はい。市長当日わかりました。
0:53:59	とりあえず、出てきたものが見れるような気がしてきました。はい。10分以上です。
0:54:06	コサクです。最終確認できたところですけど、別紙2っていうのはどういう単位でまとめるか、なんですけど。
0:54:14	今のやつだと防護盤とか、
0:54:22	な条文の中で、
0:54:26	グルーピングをし、
0:54:29	したものだけ、サンプル1個ずつではないという中間的な、つかない感じだったんですけど、
0:54:40	そういう理解でいけばいいんですかね。
0:54:48	日本円熱心でちょっと私がちょっと今のご質問にちょっと含めてないかもしれないんですけども、コサクです。もうちょっとわかりやすく言うと、

0:54:58	条文との対応関係、或いはその基本設計方針との対応関係っていうと、防護盤だけじゃなくて防護扉だって、固縛であって、全体入ってくるじゃないかと。
0:55:12	網羅的に基本設計方針の対応を説明しようとする間にその固縛装置だったり、扉だったりってのが入ってくるんですけど、
0:55:21	入ってきた上で、これはこの設備が対応しますということで入れ込んで書いていくのか。
0:55:29	分割して行ってここは5番の関係じゃないので、説明省略しますっていうことで、分けていくのか、どちらですかっていうことです。
0:55:41	日本原燃志水です。
0:55:43	基本的にははAとAと分けて今整理しようと思っています。飛来物のオーバーだったりという分類を分けるなり、
0:55:55	固縛の話であれば、SAの可搬の設備の、
0:56:00	SAの類型分類の中で、施工説明の後説明してきますのでそういうので散っていくと、分かれていくという理解です。
0:56:13	古作です。分かれていく場合にはその分け方の範囲ってどうしますかということと、等、
0:56:22	網羅性の説明がまた別途必要になると、いうことなんですけどその対応どうしますか。
0:56:34	杉。日本原燃清水です。
0:56:38	基本設計方針の網羅性というところで言いますと、
0:56:45	ちょっと今のその別紙3のリストでは、ちょっとウェイ的にはわからないんですが、
0:56:51	その基本設計方針を受ける設備の設備に着目した分類の方は、
0:56:58	最終的に別紙3のリストの中で、どうもすみませんコサクです。ちょっと意味が違って、構造設計の説明の網羅性です。
0:57:08	日本原燃清水です。
0:57:10	そういう意味でいきますと、構造設計の説明の網羅性の点については、最終的にはこの別紙3の中で2の、
0:57:21	整理した結果の情報も入れて、
0:57:24	行動すみませんコサクです。別紙3の中でって言われちゃうと別紙3が本当に網羅してるのかという
0:57:31	説明できないので、

0:57:33	基本設計方針の対応として漏れがありませんよと。
0:57:37	いうこと言っていたかないといけないうところなんです。
0:57:47	で、それによって、別紙3を踏まえて抽出されたサンプルの説明で、
0:57:47	全部がはまっていれば、
0:57:49	説明は十分、
0:57:52	抜けがとられましたねと。
0:57:54	具体的下で、このサンプルで良いのって意味では別紙3のそれに紐づいている設備を見て確かに同じ対応でいいねと。
0:58:04	いう確認がとれるっていうのでセットできると。
0:58:08	ということなので、分けた場合にはこの縦軸について説明がし切れているかと。
0:58:16	で、5番であれば防護扉みたいなものについては説明が入ってないわけで、
0:58:22	それはそ、防護扉の方でちゃんと説明が入ってますよねと。
0:58:27	というようなところの確認を、
0:58:29	潰し込みをしていかなきゃいけないと。
0:58:31	ということなんですけど、ご理解いただけました。
0:58:35	はい。日本原燃志水です。小坂さんの質問の意図でいいですかご指摘の意図は理解しました。
0:58:43	それを、どの、
0:58:46	どのようにちょっと網羅性を示しするか、すいません、ちょっと今一度ちょっと考えさせていただきたいと思います。この基本設計方針各条文の基本設計方針が、
0:58:59	それぞれ切って説明するのはそれを、とうい本当に抜けがないのかっていう剣山じゃないですけども、
0:59:06	それをするツールがある新たに作らなきゃいけないのかどうかちょっと考えさせていただきたいと思います。
0:59:13	はい。補足です。一つの例として言うと、
0:59:17	この縦軸を一つ一つちゃん、今、ござって固まって基本設計方針の方書きちゃってますけど、
0:59:25	分けていって、説明がないものについては、別の防護扉だったら防護扉の表があるわけで、
0:59:35	大南を防護扉にて対応してます。

0:59:40	いうことを付記することでそれぞれの表の中で、
0:59:44	一応その漏れないよっていうことは表現できると。
0:59:47	いうところだと思います。
0:59:50	一方で
0:59:54	それぞれにやるのはやり過ぎ感があるというか大変だということであれば、別の表を、
1:00:00	作って網羅性のためにこの部分は、大南票3票で対応してますここは何票になって対応してますと。
1:00:07	いうリストを作るというのも一つので、
1:00:10	ですし、どうやるかは皆さんでご検討いただければ
1:00:16	日本原燃清水です。アドバイスありがとうございます。
1:00:20	はい。ちょっと同意。
1:00:22	どちらがどういったまとめ方がちょっと効率的にお示しできるかというのをちょっと再検討させていただきたいと思います。
1:00:43	規制庁清水です。他、規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:00:52	どうか。
1:00:54	藤さん、ごめんなさい、規制庁タジリなんですけど、木曜日って、何が出てくることになるんでしょう結局、
1:01:07	人間でシミズする、木曜日、お示ししたいと考えてたのが、
1:01:14	まずは飛来物防護盤の鋼材のものと、鉄筋コンクリート造のものを、この神戸市の構造設計、
1:01:25	このホームに落として、
1:01:28	で、最終的にどう累計するのかというところをお示ししたいという目的が一つございました。
1:01:36	あとは、今ご指摘いただいた別紙、
1:01:41	3のイメージであったりを、もうちょっと具体的にお示ししたいと考えているという辺を、木曜日の資料の中でお示ししたいと考えておりました。
1:01:54	今、コサクさんからいただきました基本設計方針の網羅性を造シミズかもう少しちょっと考えさせていただきたいと思います。
1:02:03	規制庁館です。別紙の2は防護板俺に、別紙の1と1は全体だけど1とか3に関しては、もうちょっと幅広いところが確認できるぐらいのものが、とりあえず見れると思えば、小野瀬さんの場合は置いとくとして、



1:02:20	はい。日本原燃清水です。別紙3の部分がですね。
1:02:27	松田。
1:02:29	今、竜巻の別紙に、説明しようと思っているものを題材にしてですね別紙3度お示ししようとしているのかという、まずそのまず方向性をお示しさせていただいた上で、
1:02:42	次の段階で全体をお示ししたいというふうに考えております。
1:02:46	状態ですんで、開放のときにもある程度抜粋しながらみたいなやつをとりあえず防護板抜粋しながらやるとこんなイメージで別紙3出てきますよってというのがとりあえずついてくると思えばいいですかね。なんだの、全部の設備をつけるわけじゃなくてあくまで別紙2を動いた例にとってやるので、それと関連づくような別紙3ってというのはこういうふうにかかれてる形になるんですってというのが見える。
1:03:09	はい。そこを目指してはい資料を準備したいと思っておりました。
1:03:14	規制庁鳥井です。別紙1も同じになるんですかね。安倍C T O機器数とかだけ書いてあるような形にはなると思うんですけど。
1:03:21	別紙一番は、すいません日本原燃シミズ別紙1は竜巻部の整理した
1:03:28	結果今ちょっと、
1:03:29	何ていうか、この資料の4ページ目に示しているような竜巻分はAからB1B、B、B4までお示ししたいと思ってまして、別紙3のところは、
1:03:43	そのうちのAに分類される対策設備のところを題材にとって、別紙3どうまとめるんだという方向性をお示ししたいというふうに考えております。
1:03:54	はい。規制庁館です。いずれ木曜日の段階で具体的にどう書かれるのかっての見た形になるとは認識したので、今課題等でありがとうございます。
1:04:08	根井町シミズそっから全体を通して規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:04:17	よろしくお願ひします。コサクです。
1:04:21	一通り作業としては、大徐々に明確になってきたかなとは思いますが、途中でその会合においてはリストをどうしますかっていう話もしましたが、
1:04:34	別紙2の部分もう会合としてはどうしますかというのが少し気になるので、

1:04:41	また、
1:04:42	次の段階での資料提示において、そういった辺りお話をできればなど。
1:04:48	思ってますけど。
1:04:51	いっそのこと別紙2 そのものもこないだのリストと同じようにですね、つけてしまって、なので、
1:04:59	本体のパワポの資料では、
1:05:03	ポイントだけ抜き出して説明できればっていうこともありかなと思いますので、
1:05:09	検討をお願いします。もし今何かイメージがあれば、お話しいただければ。
1:05:19	i P h o n e A F Cです。
1:05:22	介護の資料のところにつきましてはすみません、正直なところこれから今考えたいと思っていたんですが、今コサクさんからアドバイスいただいた点、別紙2のところは、飛来物防護盤のところを題材に、
1:05:35	受けて、それを本文のパワポのところ、
1:05:38	まとめてどう示すんだというところを、今後、介護処理の更新のところでお示ししていきたいと思っております。
1:05:48	はい。補足です。また引き続きよろしくお願いします。
1:05:56	はい、規制庁シミズほか全体通して規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:06:04	しければ当原燃側から振り返り。
1:06:07	と、今後のスケジュールについて説明をお願いします。
1:06:14	はい。日本原燃清水です。
1:06:17	まずは、別紙2の構造設計の整理表ですけども、
1:06:25	単純に機器を並べてやるものではなく、類型を意識しまして、一律で、
1:06:32	まとめてちょっと整理するというところのイメージ。
1:06:36	をしっかり整理しまして、木曜日の資料提出の方に、その具体のものをお示ししたいと。
1:06:42	いうふうに考えております。加えて別紙3の設備リストのところですけども、
1:06:49	何か、

1:06:54	関連上部の設計項目をどうのどころの分類をどう示すんだというところも、ちょっともう少し検討しまして、その具体のところ、示し方の方を、
1:07:06	はい。木曜日の資料の方でお示ししたいと、いうふうに考えております。
1:07:11	あとは、我々が今考えているやり方でやったときに、基本設計方針の構造設計の部分が漏れなく全体、ちゃんと説明できてるのかっていう網羅性の部分。
1:07:21	につきましてはもう少しちょっとお時間いただきまして、どのようにお示しするのかというのをちょっと検討しまして、
1:07:29	また別途ちょっと、共通 12 の資料なのか、今回のようなパワーポイントのような形で、対応方針みたいな形でちょっとお示しするのかをちょっと考えて、またスケジュールの中でご説明させていただきたいというふうに考えて、
1:07:44	おりバス、
1:07:45	はい簡単ですが以上でございます。
1:07:51	はい。規制庁吉見です。それでは全体を通して他規制庁側から何か確認ございますでしょうか。
1:08:01	例年側も特によろしいでしょうか。
1:08:03	はい。日本原燃特にございません。
1:08:07	それでは本日は非常に合格以上かと思っておりますので、
1:08:14	ヒアリングを終了したいと思います。本庁側で録音の提出をお願いいたします。